

# N-1: ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月14日(火曜日) 15:50-17:20 WEB-ONLY

## プログラムマネージャー目指してみませんか

プロジェクトからプログラムへと規模が大きくなるにつれ、マネジメント力が益々重要になってきます。「はやぶさ2」、「富岳」でもマネジメントが注目されました。研究開発プログラムでは著名な研究者がリーダーとなりマネジメントを担うことも多いですが、必ずしも名選手が名監督であるとは限りません。本セッションではURAといった研究管理者にもプログラムマネージャー (PM) を目指すことを勧め、PMに求められる基本的な能力や実践上の課題、実務経験を経て獲得したコツやノウハウが共有されることで、各々が目指すPM像が深まることを期待します。関心のある方や支援経験のある方、実際にPMを経験された方まで、幅広くご参加お待ちしております。

## ファシリテーター(メイン)



羽賀 史浩: 琉球大学・研究推進機構研究企画室、  
SDGs推進室(兼任)・上席URA

1991年信州大学工学部卒。(株)東芝に入社するも2年目で退社し信州大学大学院へ進学。1998年同大学院博士後期課程を修了。日産自動車(株)に入社し総合研究所で燃料電池等の材料研究、人材育成、インド子会社へ海外出向、研究企画等に従事し、2019年11月より現職。JST共創の場形成支援プログラムC01-NEXTの副PLとしてプロマネはじめました。

## ファシリテーター



久保 琢也: 横浜国立大学・研究推進機構・  
特任教員(講師)

2016年に学位を取得後、広島大学、信州大学のURAを経て、2021年8月より横浜国立大学のURAとして着任。これまでは主に科研費獲得支援、人材育成系の補助事業のプレアワード、ポストアワード、研究IR等に従事。近年では人社系の科学計量学的研究や研究IRのためのツール開発など活動の幅を広げている。JSTのPM研修第5期生。一児と二猫のパパ。

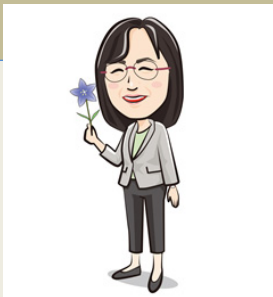
## ファシリテーター ※つづき

**秦野 歳久**:国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構・量子ビーム科学部門 研究企画部・研究統括



大学では破壊力学を専攻し、接合体の寿命評価で2000年に学位を取得した研究者がベースです。国際プロジェクトへの参加や国際交渉の経験を通じて、科学をプロデュースの観点から興味を持ち、2016年から所属先の研究企画部では企画、知財、契約、産学連携を担当しています。JSTのPM研修5期生。

**房木 ノエミ**:東北大学・研究推進・支援機構 URAセンター・特任准教授



免疫・ウイルス学・がん・再生医療の医学生物系研究者として、大学と企業で研究開発やマネジメントに従事。培ってきた知識や研究力、製品化、特許、アライアンス、大型研究費獲得・研究者ネットワークなど多様な実務経験を活かし、2017年から東北大学・知のフォーラムと研究拠点の1つでURA業務に従事している。JST-PM研修5期生、現在2nd Stageに採択され、FS研究実施中。

**徳田 加奈**:福井大学・産学官連携本部・URA



2014年より福井大学URA。プレアワードの他、研究プロジェクトマネジメント支援、産学連携・地域連携コーディネート、研究IR等の業務を担当している。RA協議会スキルプログラム専門委員として、リサーチ・アドミニストレーション人材の育成にも携わる。JST-PM研修5期生、第2ステージでプロマネ実践中。